



前線からのプレスでボールを奪い、高い位置から攻撃に切り替えることが出来た。写真は中嶋



▲この日はドリブルでゴールへ果敢にアタックする場面が見られた鈴木亮



▲後半、不用意なファールで退場してしまった菊地だが、退場するまでは筑波大の攻撃の起点となる平山を封じた



◀後半、筑波大の攻勢にも太(中央)のナイスセーブなどで失点を防いだ

## キャプテン 祐輔の為に...



インカレ直前の練習時に足首を骨折してしまった鈴木祐輔主将。90分間ゴールを死守した太は、「決勝まではインターバルがあり祐輔の復帰の可能性があると思ったので祐輔の為に」と語るように、この日のイレブンは筑波大に対するリベンジ以上に「祐輔を国立に連れて行く!」という気持ちが強く感じられた。その鈴木祐は年が明け、すでにチーム練習にも合流。「怪我は治りました。後は監督に使ってもらえるかどうかですね」と決勝出場への意気込んだ。

12月26日 13:20 西が丘サッカー場  
**駒大2(2-0)0筑波大**  
 (関東第3) (関東第1)

**MOM** 大澤陽介

得点者(アシスト)

[駒] 4分: 中後雅喜 1

[駒] 34分: 中後雅喜 2=PK

KOMAZAWA	TSUKUBA
GK① 太 洋一(4)	GK① 来栖由基(3)
DF④ 小林 亮(4)	DF④ 石井雄真(2)
DF③ 大澤陽介(4)	DF⑤ 秋葉陽一(3)
DF⑬ 廣井友信(2)	DF⑥ 植松弘樹(4)
DF⑬ 筑城和人(2)	DF⑩ 阿部翔平(3)
MF⑫ 菊地光将(1)	MF⑧ 藤本淳吾(3)
MF⑧ 中嶋祐太(4)	MF⑨ 秋田政輝(4)
MF⑦ 鈴木亮平(3)	(45分)② 三澤純一(1)
(81分)⑩ 塚本泰史(1)	MF⑩ 兵働昭弘(4)
MF⑥ 中後雅喜(4)	MF⑫ 今田 傑(1)
FW⑨ 赤嶺真吾(3)	(56分)③ 高山純一(2)
FW⑪ 原 一樹(2)	(66分)⑭ 中野洋司(3)
(88分)⑮ 巻 佑樹(2)	FW⑦ 鈴木達也(4)
	FW⑩ 平山相太(1)

S U B	S U B
GK① 牧野利昭(3)	GK⑭ 山田慎太郎(2)
DF② 桑原 靖(3)	DF⑮ 高向隼人(4)
MF⑯ 宮崎大志郎(3)	FW⑰ 佐々木惇(2)
MF⑰ 関 光博(4)	FW⑱ 富岡英聖(2)
MF⑱ 小野里銀児(1)	

MANAGER 秋田浩一

MANAGER 木山隆之

警告(C)/退場(S)

[駒] 19分: 小林亮(C) 29分: 菊地光将(C)

55分: 菊地光将(C) 57分: 菊地光将(S)

[筑] 33分: 石井雄真(C), 44分: 植松弘樹(C)

51分: 兵働昭弘(C), 53分: 石井雄真(C)

53分: 石井雄真(S), 57分: 高山純一(C)

[シュート]10:13[GK]13:16[CK]5:7[PK]1:0[直接FK]27:22

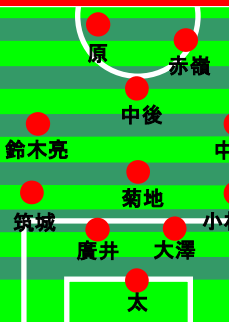
[間接FK]3:1[OS]3:1[主審]扇谷健司[観衆]約2000人

※上記データは全て左側の数字が駒澤



終了間際のピンチにもゴール前での身体を張ったクリアやなど、インカレでここまで失点「1」と好調な守備陣の中心として、駒大決勝進出の原動となった

### 基本フォーメーション



## 打ち合いの予感!?~インカレ決勝~

この試合の最大の見所は何といても両チームの攻撃力。今大会6試合18得点の攻撃陣を要する駒大は関東でもナンバー1の攻撃力を誇る。一方、立命大はここまで13得点を誇りこちらも関西ナンバー1の攻撃的チーム。この両者がどれだけその攻撃を防ぎ、自分たちの持ち味を出せるか意地と意地時の戦いとなりそう。スリリングな試合展開となることは必至である。

駒大はJ内定の中後雅喜、小林亮の4年生の2人を中心に6試合16得点をあげた攻撃陣のFW赤嶺真吾、原一樹が立命館大ゴールに襲い掛かる。

準々決勝、準決勝とビックサプライズを提供し続けてきた立命大は決勝の舞台まで上り詰めた。チームの中心はFW関雅至(4年)。得点だけでなくチャンスメイクも出来るまさにチームのキープレイヤー。ディフェンスラインはここまで8失点と駒大の1失点に比べやや不安定。空中戦に強い阪田章裕(2年)などがいるがこの守備陣がどれだけ駒大の攻撃を耐えられるかそこに勝敗の行方は左右されそうだ。

